

静岡県知事 川勝 平太 様

所在地 清水町堂庭 210-1  
団体名 清水町鳥獣被害防止対策協議会  
代表者 会長 橋本 健雄

令和元年度、令和2年度及び令和3年度鳥獣被害防止総合対策交付金（鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業）に関する改善計画について

令和元年度、令和2年度及び令和3年度において鳥獣被害防止総合対策交付金で実施した事業について、当初事業実施計画の目的の達成が図られるよう、下記の改善計画を実施することとするので、報告します。

## 記

### 1 事業の導入及び取組の経過

「清水町鳥獣被害防止計画」に基づき、猟友会委託による捕獲の実施、捕獲体制の整備、関係機関との情報共有、情報発信による啓発等の対策を組み合わせ、鳥獣被害対策を進めているところである。

令和元年度から3年度においては、鳥獣被害防止総合支援事業（推進事業）を活用し、令和2年度に猟犬用発信機を3基導入した。鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業では、令和元年度にイノシシ7頭ニホンジカ1頭、令和2年度にイノシシ7頭ニホンジカ1頭、令和3年度にイノシシ5頭ニホンジカ2頭を捕獲した。

### 2 当初事業実施計画の目標が未達成である原因及び問題点

清水町は町域が狭く、森林率も非常に低いため、例年有害鳥獣による被害金額及び被害面積は少ない。基準となる計画作成年度は特に被害が少なかったことから、目標値は被害金額8,000円、被害面積3.4aととても厳しい数字を設定しており、基準年度より多くの被害があったため目標が未達成となったが、推進事業や鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業によって町内の有害鳥獣による被害金額及び被害面積を非常に少なく抑えることができているため、引続き関係機関と連携し対策に取り組む。

### 3 実績及び改善計画

(様式) 被害防止計画の達成状況に係る部分

区分	指標	対象鳥獣	被害防止計画の達成状況					達成率 (%)	備考
			目標 (R3)	基準年 度の実績 (H29)	1年目 (R1)	2年目 (R2)	3年目 (R3)		
被害防止計 画(被害の軽 減目標)	被害 金額 (千円)	イノシシ	2	3	2	9	6	▲300	
		ニホンジカ	4	6	7	1	6	0	
		ハクビシン	2	3	6	6	3	0	
		合計	8	12	15	16	15	▲75	
	被害 面積 (a)	イノシシ	0.7	1	1	4	3	▲666.7	
		ニホンジカ	2	3	3	1	3	0	
		ハクビシン	0.7	1	2	3	2	▲333.3	
		合計	3.4	5	6	8	8	▲187.5	

(注) 1 指標は、被害防止計画と整合をとること。

2 被害防止計画の達成状況のうち、「目標」、「基準年度の実績」は被害防止計画から転記し、それ以外は被害防止計画に基づく取組実績を記載すること。

3 各指標ごとの合計も記載すること。

4 被害防止計画を見直し、目標の変更を行った場合は、備考欄に新たな目標を記載すること。

※ 改善計画は4に記載のとおり

#### 4 改善方策

令和3年度の実績値は、被害金額15,000円、被害面積8aとなっており、目標は達成できなかったものの箱罾や猟犬用の発信機等を導入した推進事業や猟友会と協力して実施している鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業により、町内の被害を非常に少なく抑えることができている。引続き当事業を活用し、有害鳥獣対策に取り組む。

#### 5 改善計画を実施するための推進体制

清水町：協議会事務局、全体総括

駿東猟友会清水町支部：有害鳥獣捕獲活動等に関する取組み、意見提言

富士伊豆農業協同組合：鳥獣被害防止に関する情報提供、意見提言

鳥獣被害地区区長：被害状況等の情報提供、対策への協力

#### 6 第三者の意見

被害金額及び面積がともに少なく、局所的な発生にとどまっていると推察される。今後については被害が増加している地域で捕獲を含む各種被害対策を進めてほしい。

(静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 上席研究員 水井陽介)